

第3回 桐生市総合計画審議会 議事要旨

○日 時 令和5年8月21日（月）午後6時30分～午後9時15分

○場 所 桐生市保健福祉会館 5階 503会議室（控室：501、502会議室）

○出席者 58名

【審議会】 15名

| | |
|--------------------------------|---------|
| 会 長：桐生市教育委員会 教育長職務代理者 | 板橋 英之 |
| 副会長：一般社団法人きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長 | 近藤 圭子 |
| 委 員：桐生商工会議所 会頭 | 初山 和久 |
| 桐生市農業委員会 会長 | 今泉 芳雄 |
| 桐生市区長連絡協議会 会長 | 茂木 新司 |
| 桐生市社会福祉協議会 常務理事 | 大木 茂雄 |
| 一般社団法人桐生青年会議所 直前理事長 | 深澤 佑太 |
| 群馬大学 大学院理工学府 教授 | 天谷 賢児 |
| 群馬大学 大学院理工学府 教授 | 金井 昌信 |
| 新里の未来を語る会 会長 | 瀬谷 源 |
| 黒保根の未来を語る会 副会長 | 木村 光一 |
| 群馬県知事戦略部デジタルトランスフォーメーション戦略課 課長 | 間々田 祐美子 |
| 公募市民 | 清水 哲 |
| 公募市民 | 山口 典利 |
| 公募市民 | 園田 奈緒 |

（欠席者）

| | |
|----------------------|-------|
| 委 員：桐生市子ども・子育て会議 委員 | 谷口 淳美 |
| 桐生市医師会 理事 | 星野 仁 |
| 桐生市婦人団体連絡協議会 体育振興部担当 | 間中 一枝 |
| 公募市民 | 茂木 和子 |

【桐生市】 43名

| | |
|-------------------|-------|
| <事務局> 桐生市共創企画部長 | 西條 敦史 |
| 桐生市共創企画部企画課長 | 橋本 頼孝 |
| 桐生市共創企画部企画課企画担当係長 | 森下 英明 |
| 桐生市共創企画部企画課企画担当 | 曾我 延博 |

<担当部課長>

| | |
|-----------------|-------|
| 桐生市総務部長 | 青木 紀夫 |
| 桐生市総務部人材育成課長 | 雨澤 浩史 |
| 桐生市総務部財政課長 | 向田 博行 |
| 桐生市総務部DX推進室長 | 金子 輔 |
| 桐生市総務部税務課長 | 松島 誠 |
| 桐生市総務部納税課長 | 中島 忍 |
| 桐生市市民生活部長 | 関口 泰 |
| 桐生市市民生活部地域づくり課長 | 齊藤 博功 |

| | |
|---------------------------|--------|
| 桐生市市民生活部市民相談情報課長 | 吉田 雅彦 |
| 桐生市市民生活部環境課長 | 高橋 勝幸 |
| 桐生市市民生活部清掃センター所長 | 増田 修 |
| 桐生市産業経済部長 | 新井 八寿代 |
| 桐生市産業経済部日本遺産活用室長 | 中島 晃 |
| 桐生市産業経済部農林振興課長 | 今泉 勝浩 |
| 桐生市都市整備部長 | 鈴木 宏 |
| 桐生市都市整備副部長 | 水嶋 一郎 |
| 桐生市都市整備部都市計画課長 | 高野 兼寿 |
| 桐生市都市整備部土木課長 | 大澤 順 |
| 桐生市都市整備部公園緑地課長 | 岡部 千明 |
| 桐生市都市整備部建築住宅課長 | 河内 浩幸 |
| 桐生市都市整備部建築指導課長 | 岩崎 史男 |
| 桐生市都市整備部空き家対策室 | 矢島 修 |
| 桐生市地域振興整備局地域振興整備局長 | 登坂 良男 |
| 桐生市地域振興整備局新里支所市民生活課長 | 峯岸 孝徳 |
| 桐生市地域振興整備局黒保根支所市民生活課長 | 松島 徳和 |
| 桐生市地域振興整備局黒保根支所地域振興整備課長 | 瀬谷 和穂 |
| 桐生市消防本部消防長 | 石内 和久 |
| 桐生市消防本部総務課長 | 小林 俊彦 |
| 桐生市消防本部予防課長 | 藤生 真伸 |
| 桐生市消防本部警防課長 | 吉田 純 |
| 桐生市水道局総務課長 | 橋本 千浪 |
| 桐生市水道局工務課長 | 金子 敏明 |
| 桐生市水道局浄水課長 | 柳井 仁美 |
| 桐生市水道局下水道課長 | 柳井 徹 |
| 桐生市水道局境野水処理センター所長 | 松本 達也 |
| 桐生市教育委員会事務局教育部長 | 戸部 裕幸 |
| 桐生市教育委員会事務局教育部参事 | 飯泉 尚士 |
| 桐生市教育委員会事務局教育部学校教育課長 | 渡邊 真宏 |
| 桐生市教育委員会事務局教育部学校教育課教育支援室長 | 鈴木 智行 |

※担当課によっては、係長・担当の出席もあり。

【傍聴者】なし

【報道機関】1社

○会議内容

1 開 会 [開始：午後6時30分]

2 会長挨拶

・板橋会長より挨拶。

3 議 題

- ・議事に入る前に、事務局より、過半数以上の委員の出席により会議が成立していることを報告。
- ・議事進行は、桐生市総合計画審議会規則第4条の規定により、会長が議長として行う。

(1) 桐生市第六次総合計画 後期基本計画（案）（第1～3章）について （資料1・資料2）

- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

| | |
|---------------|--|
| 委員 | <p>前回の審議会での質問内容が、上手く伝わっていなかったため、再度説明を申し上げたい。小学校の適正配置について、学校数を新たな目標指標に設定することはできないのかという内容になっているが、そうではない。</p> <p>適正配置を行うと、統廃合に数年かかるため、小中学校数は変わらない。この4年間で適正配置を検討しなければならないという基準を満たしてしまう小中学校がいくつかあると思うので、その基準を満たした小中学校が、地域の人と協力して協議を開始しているかどうかの実施率を目標指標に設定したらどうかという内容を伝えなかった。小中学校数を目標指標にすることは難しいことは理解している。</p> |
| 事務局 (企画課長) | 再度確認させていただきたい。 |

(2) 桐生市第六次総合計画 後期基本計画（案）（第4～6章）について （資料3・資料4）

- ・桐生市総合計画後期基本計画（案）第4～6章の修正・追加等一覧表（資料4）については、当日配付。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

【第4章 生活環境の向上】

- ・事務局が第4章（4-1～4-6）を説明し、第4章についてまとめてご意見等を伺う。

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>まず、4ページの「1.生活環境対策の推進」の目標指標のように、アンケート調査において「関心がある」と回答した市民の割合を目標指標にしているが、そのイベントに参加する人は関心がある人なので、イベントに参加しない人が問題になってくると思う。3ページの現況と課題に、スローライフや「ゆっくりズムのまち桐生」などの新しい考え方をどれだけ市民に定着したのかを新しい目標指標にするべきであると思う。また、イベントに参加する人数や団体数などを目標指標に設定した方がよいのではないか。</p> <p>9ページの目標指標である「水や食料の準備を行っている」と回答した人の割合については、総合指標の目標指標ではなく、11ページの「1.地域防災力の向上」の個別指標である目標指標に設定した方がよいのではないか。理由とすると大きな災害が発生すると、みんなが水や食料を一時的に購入する。アンケートを取った時にそのような状況であると、何もやってなくても、過剰に目標達成してしまうためである。</p> <p>9ページの現況と課題には、自助・共助を推進するという内容が記載されているが、自助を推進するような施策の方向が、明記されていないので、地域防災力は個人で考えるし、自助に関する施策と共助の向上に関する施策を設定</p> |
|----|---|

| | |
|-----------|---|
| | <p>すれば、9ページの「水や食料の準備を行っている」という指標は、自助の施策に該当する。次に、共助であるが、個別避難計画の策定件数や地区防災計画に着手した自治会数などを目標指標に設定してもよいのではないかと思う。</p> |
| 環境課長 | <p>4ページの目標指標である環境イベントについては、イベントには興味がない方も参加することもある中で、後期基本計画では、「アースデイ in 桐生」だけでなく、「桐生市環境ポスター展」を追加した。また、SDGsのイベントなども対象に考えている。しかしながら、委員からの意見については、検討したい。</p> |
| 会長 | <p>環境イベントの参加者数を目標指標に設定することも一つかもしれない。また、「スローライフやゆっくりズムのまち桐生」を知っていますかとのアンケートを取ることも、目標指標に設定できるのかもしれないので、検討してもらいたい。</p> |
| 防災・危機管理課長 | <p>3点の意見をいただいたので、順次回答したい。</p> <p>まず、1・2点目については、関連しているので、一括で回答する。9ページの総合指標である目標指標（水や食料の準備を行っていると回答した人の割合）を個別指標に移動することは、事務局と調整したい。移動先の「1. 地域防災力の向上」についての自助・共助の関連性の指摘だが、この後期基本計画の中には、具体的な取り組みは記載していない。どのような内容を「1. 地域防災力の向上」の中で実施しようとしているのかを申し上げますと、自助・共助のための自主防災組織への支援などを具体的な取り組みとして考えているため、それに見合えば、目標指標を移動することは可能かと考えている。</p> <p>3点目であるが、要配慮者の個別避難計画などを目標指標に設定するべきでないかとの意見であったが、個別避難計画の担当部局は、保健福祉部であるため、福祉分野に設定できるかどうかを調整させていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>9ページであるが、目標指標に指定福祉避難所の数を設定したらどうか。</p> |
| 防災・危機管理課長 | <p>本市では、協定福祉避難所という呼び方であるが、告示することで初めて指定福祉避難所に移行することになる。指定福祉避難所を目標指標に設定することについては、担当部局である保健福祉部と検討したい。</p> |
| 委員 | <p>4ページの「2. 温暖化対策の推進」の目標指標について、市の事務、事業から温室効果ガスを減らすとのことであるが、環境先進都市やSDGs未来都市である桐生市にとっては、温暖化に対する目標指標ではあるが、指標として貧弱な気がする。国や県では、先進的な計画を策定しているため、桐生市の指標ももっと頑張るんだという内容のものに設定できないか。</p> <p>例えば、温暖化対策への事業数などを目標指標に設定することも一つであ</p> |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>ると思う。</p> |
| <p>環境課長</p> | <p>「2. 温暖化対策の推進」の目標指標については、主な関連計画である「第4次桐生市地球温暖化対策実行計画」について、市の施設のみからの削減義務があり、その計画の数値に基づき、目標指標として設定しているところである。委員から指摘のとおり、温暖化対策については、市民一人ひとりに取り組んでもらわないと進まないと考えているが、検討させてもらいたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>11 ページの目標指標である「ハザードマップ出前講座の参加者数」と「防災アプリ登録件数」の目標値に差があると思うのだが。</p> |
| <p>土木課長</p> | <p>「ハザードマップ出前講座の参加者数」については、2022年度の参加者数が15人、今年度の参加者数は現状だと2回開催して43人であるため、2024年度の目標値を50人に設定したところである。</p> |
| <p>会長</p> | <p>「ハザードマップ出前講座の参加者数」という指標でよいのか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>単位とすると、参加者よりは地区での回数の方がよいと思う。出前講座は、住民側からの要望がないと開催できないので、目標指標としては良いものだと思う。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ハザードマップの認知度割合は、把握できないのか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>アンケートを実施すれば、可能だと思うが、ハザードマップを理解できているかどうか難しいところがある。</p> |
| <p>土木課長</p> | <p>目標指標の単位である回数・参加者数については、検討したい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>15ページの「消費者被害の未然防止に関する啓発回数」の目標指標であるが、2022年度の基準値である「2回」を2024年度の目標値「24回」にするということで、どのような手法を考えているのか。また、2023年度にどのくらい実施されているのか。</p> |
| <p>市民相談情報課長</p> | <p>啓発活動として、積極的に情報発信していくことを考えており、ふれあいメール、市ホームページ、広報きりゅうなどでの啓発を予定している。2022年度の2件については、ふれあいメールで周知した。今年度については、5月にふれあいメールで1回周知した。2024年度以降は、ふれあいメールにおいて、月2回の啓発活動を実施しようと考えている。また、市ホームページや広報でも周知したいと考えている。</p> |

| | |
|----------|---|
| 委員 | ふれあいメールは、市民がどのくらい利用しているのか。 |
| 市民相談情報課長 | ふれあいメールの「市政」という区分で情報発信しているのだが、「市政」の登録者数は約 10,000 人である。 |
| 委員 | 登録者 10,000 人の中に、啓発に関係する人がどのくらいいるのかである。 例えば、目標指標であるが、「歌声喫茶」など、社会福祉協議会が実施している高齢者が集まる機会があると思うので、各地区年に 1 回ぐらいは、10～15 分程度、担当者が訪問して、講座を開催した方が現実的だと思うが。 |
| 市民相談情報課長 | ふれあいメール以外にも、消費生活センターでの啓発活動や地域包括支援センターが主催で開催する講座なども実施している。また、消費者月間には、市民にも周知しているなど、様々な啓発活動を行っているが、目標値については、ふれあいメールや市ホームページでの啓発活動に特化した内容を目標値に設定している。 |
| 会長 | それだけに特化しなくてもよいと思う。委員からも良いアイデアが出たので、詐欺にあう人を減らすことが目的であるため、そのような取り組みを行ってほしい。 |

【第 5 章 都市基盤の整備】

- ・事務局が第 5 章（5-1～5-9）を説明し、第 5 章についてまとめてご意見等を伺う。

| | |
|----------|---|
| 委員 | 19 ページの「1. 歴史まちづくりの整備」の目標指標に「伝統的建造物の修理棟数」が設定されているが、修理棟数は全体でどれくらいあるのか。全部修理が終わるのにどのくらいの期間がかかるのか。 |
| 日本遺産活用室長 | 特定物件は、180 件である。年数については、所有者がいることなので、毎年 2 件修理していけばと考えている。 |
| 委員 | 180 件あって、2 件ずつとなると 90 年かかる。いつになったら、伝統的建造物が出るのかとってしまうのだが、もう少し早くは出来ないのか。 例えば、川越市は、25 年でまちづくりを行った。桐生市のまちづくりの整備が遅いと思うので、早く進めてもらいたいと思う。 |
| 日本遺産活用室長 | 180 件ある中で、所有者に対して、今以上に周知してまいりたいと考えている。 |
| 委員 | 修理するに当たり、住んでいる方の自己負担がある。このため、使用する予定が無いとすると、修理することの推進ができない。市として出来ることは、周知して、補助金を交付するから修理しませんかとするだけになってしまうと思う。 |

| | |
|------------|--|
| | 補助金を交付して修理したのであれば、使用していなくてそのままになっているものもあるのだとすると、設定している目標指標のほかに、利活用率や利活用数を目標指標に設定したらどうか。 |
| 会長 | 提案いただいた目標指標については、検討していただきたい。 |
| 委員 | 23 ページの目標指標であるが、鉄道やバスについて、市民 1 人当たりとして設定されているが、その目標指標が適切かどうか疑問である。 各駅の利用者数であれば、理解できる。 |
| 交通ビジョン推進室長 | 鉄道の方は、前期基本計画では、市内全 17 駅の平均乗降者数を目標指標に設定している。これを、市民 1 人当たりで修正した。 この理由とすると、人口が減少する中で、人口と比べてどれくらい乗降回数がどうなっているのかということが目標指標としてふさわしいのではないかと思い、鉄道・バスともに、市民 1 人当たりという設定にした。 |
| 委員 | 施策として、市民 1 人当たりという実績が出たとして、改善はどうか。利用者を増やすためには、どういった政策を行うのかという風に都市計画などと連動しないといけないと思う。 |
| 交通ビジョン推進室長 | 指摘いただいた点はよく分かるが、総体的に利用者の数を増やすことを考えている。人口減少が進む中で、利用者が増えているかどうかを判断するための指標として設定している。 |
| 委員 | この目標指標を入れるのであれば、鉄道・バス事業の経営状態としての指標としてみればよいと思うが、22 ページの現況と課題の 3 つ目に「過度な」という言葉を考慮するならば、「0」という人を減らすという考えもある。例えば、1 年間に鉄道やおりひめバスを 1 度も使用したことがない市民の割合が減っていくというような目標指標を設定できないか。市民の声アンケートなどにおいて、確認することができると思う。 |
| 交通ビジョン推進室長 | 公共交通を選択肢として増やしていくことを考えている。委員からの提案については、今この場で出来るかどうかの判断を行うことは難しいため、検討したいと思う。 |
| 会長 | 後期基本計画では、時間の関係で目標指標として設定することが難しいと思うが、次期の総合計画の策定の際には、検討してもらいたい。 |
| 委員 | 目標指標の市民 1 人当たりの年間乗降回数であるが、人口減少に応じて、総利用回数は全体的に減ってくると思う。目標値は、年々増やしていく中で、間違いが発生してしまうのではないかと思う。 |

| | |
|------------|---|
| 交通ビジョン推進室長 | 23 ページの目標値については、人口減少が進む中で、適切な目標指標となるように、市民1人当たりの目標を設定したところである。 |
| 会長 | 先ほどのアンケートも含めて、過度な自家用車への依存を減らすための公共交通を促進するための目標指標を考えてもらいたい。 |
| 交通ビジョン推進室長 | 指摘の点については、今後検討してまいりたい。 |
| 委員 | 21 ページの狭あい道路についてだが、桐生市の道路の良いところは、裏道も広い。狭あい道路の裏道は狭い。この道路を広げることによって、都市計画が整備されて、まちづくりが適切になってくる。この整備工事か所数をもう少し増やしてもらおうと、良いまちづくりになっていくと思う。 |
| 建築指導課長 | 狭あい道路の整備件数については、狭あい道路を整備することによって、まちづくりに繋がるということだが、地権者の協力が合って進めることができるため、そういう中で最大限考慮してまいりたい。 |
| 委員 | <p>17 ページの「2.景観の形成」であるが、参加者数を目標指標に設定したらどうか。</p> <p>19 ページの「2.歴史的風致を活用したまちづくりの推進」の目標指標について、指定件数に加え、活用に関する目標指標も設定したらどうか。例えば、施設の見学者数や来訪者数、施設を使ったイベント数などはどうか。</p> <p>25 ページ「2.住環境の整備」の目標指標の1つ目について、市営住宅の耐震改修工事だが、2024年度に100%であるが、事業決定してなくて、これから頑張って100%を目標にしているのか、2023年度に工事を行っていて、今年度中に100%になるのか、今年度中に100%になるのであれば、目標指標に設定する必要はないと思う。</p> <p>同じ25ページの目標指標に、空き家等の減少件数があるが、空き家は増えていくので、増減なのか、前年度末から10件減少させればよいのか、どちらの考え方なのか。</p> <p>27ページの「1.公園の充実」の市民1人当たりの都市公園の敷地面積の目標指標であるが、この指標は分母である人口減少が進んでいけば、公園をつくらなくても目標達成してしまう。そうであれば、都市公園の総面積を目標指標に設定するべきでないか。</p> <p>30ページの汚水・雨水の適正処理であるが、29ページの水道水の安定供給の「2.上水道施設の整備」と対比すると、31ページの施策の方向は何かあるのではないのか。また、29ページの「2.上水道施設の整備」の目標指標である基幹管路の耐震適合率に該当するような指標が、「5-8 汚水・雨水の適正処理」では設定されていない。</p> <p>事務局の説明では、31ページの施策の方向「1.汚水・雨水処理の推進」の2つ</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>目の「下水道施設の老朽化対策の進捗率」という取り消し線が引いてある目標指標において、進捗率が 100%になったから、終了したとの説明を受けたが、桐生市内の下水道管の耐震適合率は 100%になったということによいか。もし、100%でないのであれば、下水道管の耐震適合率に関する目標指標があってもよいのではないか。</p> |
| 都市計画課長 | <p>17 ページの景観講演会におけるアンケートの目標指標については、講演会の参加者数という提案であったが、講演会の講師を招く際に、参加者については著名の方を招くと多くの方に参加してもらえらるということもあるため、参加者数を目標指標にできるかどうかは、検討させてもらいたい。</p> <p>19 ページの歴史的風致形成建造物の指定件数に関する目標指標だが、候補物件は計画書の中で記載しているのであるが、概ね 18 件を指定する中で、この目標指標についても、活用に関する指標との意見もあったので、検討したい。</p> |
| 建築住宅課長 | <p>25 ページの「2.住環境の整備」の 1 つ目の目標指標である「高層の市営住宅の耐震改修工事実施率」であるが、この後期基本計画は前期基本計画からの継続性もあり、100%になっていない目標値を後期基本計画から削除してしまうのも不自然であると考えたため、後期基本計画でも目標指標に設定した。耐震化工事については、工事着手しておらず、今年度に工事開始を目指しており、2 か年で工事を完了したいと考えている。</p> |
| 空き家対策室長 | <p>25 ページの「2.住環境の整備」の 2 つ目の指標である「空き家等の減少件数」であるが、市内の危険な空き家については、令和 3 年度に実施した空き家の実態調査の中で、一番危険である空き家が 129 件あった。その 129 件を減少していこうというのが基本的な考えである。しかし、調査は 5 年に 1 度しか実施しないため、その都度危険であろうというものが判明すれば、補助金などを活用して解体していただき、解体件数に含まれるものと考えている。</p> |
| 会長 | <p>危険な空き家が 129 件あるのであれば、減少率や達成率を目標指標に設定できるのかもしれないので、検討してもらいたい。</p> |
| 公園緑地課長 | <p>27 ページの「1.公園の充実」の目標指標である「市民 1 人当たりの都市公園の敷地面積」であるが、国から事務連絡があり、都市公園の面積の増加については不適切な指標であり、1 人当たりの敷地面積の増加が望ましい指標であるとの通知も届いている。委員の指摘は、十分に理解しているが、高齢化が進む中で、場所によっては公園の必要性の疑義もあるため、そういった点を踏まえながら、検討したい。</p> |
| 会長 | <p>この敷地面積は変更せずに、人口減少が進めば、市民 1 人当たりの都市公</p> |

| | |
|--------|--|
| | 園の敷地面積は増加していくということか。 |
| 公園緑地課長 | そのとおりである。 |
| 会長 | そうすると、目標ではないのではないか。市がこうするから、こうなるというものでなければならぬ気がするので、検討してもらいたい。 |
| 下水道課長 | 31 ページの下水道施設の耐震化の進捗率だが、下水道施設の維持管理更新を行うためのストックマネジメント計画の策定を前期基本計画の目標指標にした。下水道施設の老朽化対策については、ストックマネジメント計画に基づいて、実施していく予定である。目標指標については、このストックマネジメント計画が 30 年間の計画であり、目標指標の設定には、検討が必要であったことから、汚水・雨水の整備面積を目標指標にしたところである。 |
| 会長 | 29 ページに「基幹管路の耐震適合率」があるため、下水道についても、同様の目標指標の設定を行うと整合性がとれるのではないかと意見であった。 |
| 下水道課長 | 下水道管の耐震化については、ストックマネジメント計画に基づいて、今後実施していく予定である。なお、新設の下水道管の整備については、耐震化を含んだ内容となっている。 |
| 副会長 | 32 ページの「5-9 水と緑の保全」の目標指標「本市総面積に占める森林面積」が削除されているが、太陽光とかが森林に設置されているが、その変更なく、森林を 73%維持するという形で削除ということによいのか。 |
| 農林振興課長 | 森林に太陽光が設置されるなどの状況はあるが、市の施策として、今後森林面積を増やす計画はない。このため、目標指標には、そぐわないと考えられるため、削除したものである。 |
| 会長 | 最初の説明だと、森林を増やすとなると、農地などが減っていくという説明であり目標指標としてそぐわないとの説明があった。委員からあったように、太陽光がどんどん設置されることがよくないのであれば、緑の保全などの観点から、別の目標指標を入れておく必要もあるのではないか。例えば、森林面積など、検討してもらいたい。 |

【第 6 章 計画推進のために】

- ・事務局が第 6 章（6-1～6-8）を説明し、第 6 章についてまとめてご意見等を伺う。

| | |
|----|---|
| 委員 | 35 ページの「1.市民参画の推進」の目標指標であるが、参加した人へのアンケートによる満足度は残してもらいつつ、参画を推進する指標のため、まち |
|----|---|

| | |
|---------------|---|
| | <p>づくりミーティングに参加する人数を目標指標に追加したらどうか。</p> <p>36 ページの「6-2 シティブランディングの推進」の目標指標の 2 つ目の「人口総数に対する転出者の割合」について、なぜ転入者ではなく、転出者なのか。人口ピラミッドがすごく歪んでいるので、転出する割合が高い若者がどんどん減少していくため、市が何もしなくても、目標を達成できると思うので、転入者の割合が増えていくという目標指標も検討してもらいたい。</p> <p>39 ページの「1.広報・広聴の充実」の目標指標の 6 つ目の「市民の声アンケート回収率」であるが、この目標指標は、広報・広聴の充実に直結するが、後期基本計画のポイントになる総合指標の目標指標について、市民の声アンケートの回答比率に基づいているため、個別指標に設定するのではなく、市民の声アンケートの回収率の高さこそが、桐生市の施策に参画しているという指標になると思われるので、「6-2」の基本方針の目標指標に設定するか、重点施策の合計特殊出生率と同じ最上位のところに設定してもよいのではないかと思う。</p> <p>41 ページの「6-4 男女共同参画の推進」の施策の方向「1.男女共同参画の推進」の目標指標について、「各審議会等の女性委員の登用率」が少しずつ上昇している。どういう意味があるのか教えてもらいたい。目標値を設定したら、そこに向けて取り組んでいくのではないか。例えば、審議会は年度単位ではなくて、年度またぎになると昔からやっている審議会は男性比率が多いのであれば、その年度に新たに開設する審議会の新委員の登用率を目標指標に設定した方が男女共同参画の指標に合っているのではないか。</p> <p>46 ページの「6-7 デジタル化の推進」の現況と課題に、市役所の新庁舎の建設に合わせて、デジタル機器の更新などにおいて、デジタル化を推進するなどの文言を入れてもらいたい。</p> <p>47 ページの施策の方向の「1.市民の利便性向上」の目標指標の 3 つ目の「スマートフォン教室受講者数」に関して、1 回受講したら、また受講するのか。1 回受講したら、終了になってしまうと、目標値を毎年度増やしていくのは難しいと思う。これから増えていく高齢者は、スマートフォンを利用できる人なので、現状高齢者の人が受講すると思うが、どんどん減っていくと思うので、目標値を毎年度増やしていくことが難しいと思う。</p> |
| <p>特命推進室長</p> | <p>35 ページであるが、まちづくりミーティングを満足と回答した人の割合だが、2022 年度の基準値で 92.4%ということであった。この根拠については、まちづくりミーティングを合計 11 回開催する中で、アンケートの回答者数が全体で 92 名いた。満足と回答した人が 53 名、やや満足と回答した人が 32 名の合計 85 名であった。</p> <p>まちづくりミーティングで、参加者数というのは、出しづらいため、市長が市民のところに出向いて、意見を聞くという方法で実施しているため、非常に有効的で行政に関心を持っていただける機会であるため、現状の目標指標が適当であると考えます。</p> |

| | |
|----------|--|
| 会長 | 市民参画の推進であるため、参加者数が適当であると思うので、検討してもらいたい。満足度の指標は、そのまま残しておいてもらってかまわない。 |
| 委員 | 出しにくい指標と言われたので、ぜひ目標指標として入れてもらいたい。そういう指標こそが、一番の目標指標になると思う。今のままの指標だと実態が分からないので、お願いしたい。 |
| 魅力発信課長 | 36 ページであるが、転出者の割合を指標にした理由だが、シティブランディングの推進について、市民の推奨意欲の向上に基づくところがあり、そのことにより、まちの価値を高めていくものとなっている。 重きを置いたのが、転出抑制であり、外に出て行かないというところに、重きを置いた結果、転出者の割合の減少を目標指標に設定した。 転入者の割合の目標指標についてであるが、シティブランディングの観点からは、転出抑制に重きを置きたいところがある。 |
| 会長 | シティブランディングの推進なので、転入者を増やすことも良い目標指標になると思うので、検討してもらいたい。 |
| 委員 | 転出者の割合を目標指標にしていることは理解したが、転出していく 18 歳・22 歳人口がどんどん減少していく中で、この比率は何もしなくても下がっていくものであると思う。そういう試算をした上で、何かの施策を実施した効果であるという目標指標であればよいのだが、人口が自然減するので、何もしなくても、目標を達成してしまう。転出者数の割合を出すのであれば、30 歳以上とか、60 歳以上の転出者割合など、自然減を考慮しないような指標にしてもらえればよいと思う。 |
| 会長 | 委員が発言したことを、検討してもらいたい。 |
| 魅力発信課長 | 検討させていただく。 |
| 市民相談情報課長 | 39 ページであるが、市民の声アンケート回収率の目標指標については、後期基本計画全体に係る指標であるため、検討したい。 |
| 地域づくり課長 | 41 ページであるが、女性委員の登用率については、組織の中でマイノリティーの割合が 30%になった時に、決定力に影響を持つものと考えられており、男女共同参画計画の中では、30%を目標にしている。ただし、男女共同参画の推進であるため、目標値については、少しずつでも目標値を上げるように設定している。委員から提案いただいた、新年度から加わる委員の登用については、検討したい。 |

| | |
|---------|--|
| DX 推進室長 | <p>46 ページの現況と課題について、新庁舎に向けてのデジタル化の推進については、課題として認識しているところである。委員から指摘を受けた内容については、関係部署と調整する中で、検討してまいりたい。</p> <p>47 ページのスマートフォン教室受講者数であるが、現在本市で進めているスマートフォン教室はデジタルデバイト対策に向けて、特に高齢者に対してスマートフォンを自由に使えるように教室を開催している。令和4年度には、「スマートフォンって何だろう」という初歩的な内容で教室を開催した。令和5年度になり、レベルアップした内容で実施している。令和6・7年度については、レベルを上げていく内容で開催したいと考えている。</p> <p>このため、1回参加したならば、終了ではなく、何度も受けていただく中で、将来的には、高齢者がスマートフォンを自由に使用できるようになってもらいたいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>後期基本計画から、新たにデジタル化の推進が加わったということで、意見を述べさせてもらう。</p> <p>まずは、新庁舎の建設計画がある中で、デジタル化の推進のチャンスであった。そこで、デジタル化を進めるということで、デジタル化を進めると市職員の働き方が変わって、良い職員が採用できなくなるので、思い切って良い対策を行ってもらえればと思う。県の業務プロセス対策課に相談いただければ、システムだったり、ネット環境だったり、手を入れられたのかと思うが、市から相談がなかったとのことで、残念であった。</p> <p>施策の考え方であるが、47 ページの「1.市民の利便性向上」の目標指標の1つ目の「電子申請が可能な手続きの割合」であるが、目標値を算出している分母と分子を教えてもらいたい。</p> <p>手持ちの資料で確認する中では、電子申請できる件数であるが、前橋市は1,199件、太田市は1,144件、高崎市218件、桐生市は10件であった。電子申請できる数を増やすのであれば、相談いただきたいと思う。</p> <p>次の目標指標であるマイナンバーカードの交付率であるが、2027年度の目標値が85.8%になっているが、現状は交付率ではなく、利活用率になっているため、交付率については群馬県全体でも80%を超えているため、これ以上増やす事は難しい状況である。このため、マイナンバーカードを持っている人が、利便性を向上するなど、行政サービスが簡易になったと恩恵が受けられるような手続きを考えてもらいたい。交付率ではなく、利活用率の指標にするのかを検討してもらえればと思う。</p> <p>次に、「2.行政のDX推進」の目標指標の1つ目である「AI-OCR」、「RPA」などの便利なツールは、インターネット環境が整備されていないと出来ない所があるので、庁舎を移転する際には、wifiの環境もそうであるが、インターネットの環境を検討していただければと思う。また、電子決裁や電子契約、LoGoチャット、ペーパーレス化なども進めないといけないと思うので、検討してもらいたい。また、フリーアドレスも導入してもらいたい。フリーアドレ</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>スを導入すると紙の減少につながるし、職員間のコミュニケーションも活発になる。</p> <p>「3.デジタル人材の育成」の1つ目の目標指標については、2025年度からの目標値が100%に設定されている。研修については、階層別を実施するのか、またどのような内容の研修なのか気になったところである。</p> <p>ツクルンについては、協力いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上であるが、数多くあったので、担当者宛てに後ほどメールを送付させてもらうので、回答いただければと思う。</p> |
| 会長 | <p>庁舎移転のデジタル化については、委員と連携を図りながら、検討してもらいたい。</p> |
| 副会長 | <p>35 ページの「2.地域づくりの推進」の3つ目の目標指標であるが、「ゆいねっとの情報発信数」が削除になっているが、このゆいねっとシステムは、桐生市と市民活動推進ネットワークと社会福祉協議会の3者が作ったものである。昨年からは、LINEにして、登録数も増えているので、出来れば削除ではなく、復活させてもらいたい。場合によっては、情報発信数ではなく、登録数の指標でも良いと考えている。このゆいねっとを参考に、群馬県が作ったボラスルンというものがある。このため、指標を削除するのではなく、目標指標として残してもらいたい。</p> |
| 地域づくり課長 | <p>委員指摘のとおり、ゆいねっとはLINEを活用して、社会貢献活動の促進を図る良いものであるため、目標指標として残せるように前向きに検討したい。</p> |
| 委員 | <p>36 ページのシティブランディングの推進について、目標指標に人口総数に対する転出者の割合が設定されているが、シティブランディングがどのくらい波及されているのか、外から見た時のブランディングが必要ではないかと思う。</p> <p>44 ページの「国際交流・多文化共生の推進」の現況と課題の中に、ビエラ市の記載があるが、最近のビエラ市との関係はどうなっているのか。</p> |
| 魅力発信課長 | <p>外から見た時のまちの価値の評価を高めるための取り組みの指摘だと思うが、シティブランディングの推進の基本方針にも記載しているが、市外の人から選ばれるまちになることを目指すために、市内の人が価値を実感することが大前提で、まちの価値を高める取り組みは全方位になってしまうのであるが、この分野別施策の中では、まちの価値を活用して、価値を大きくすることに重きを置いているということで、指標の設定を行っているところである。施策の方向性の目標指標では、インスタグラムの#(ハッシュタグ)を付けた投稿数や、フェイスブックの投稿に対するシェア数については、全世</p> |

| | |
|---------|--|
| | 界に向けたソーシャルメディアでの発信になる。そういうことで、市外の人にも、桐生市に対する推奨意欲を図る指標であると考えている。 |
| 地域づくり課長 | ビエラ市については、最近の燃料高によって、ビエラ市でスポンサーが現れないと、桐生市に来ることが難しいとのことである。姉妹都市ということもあるため、連絡を取りながら、検討してまいりたい。 |
| 委員 | 34 ページの「6-1 公民連携の推進」の現況と課題に、市民の積極的な市政への参画とあるが、普段青年会議所で活動している。少しでも地域づくり、市民活動の推進に繋がればと活動している。35 ページの「2.地域づくりの推進」の目標指標に、まちづくり団体などの桐生市の後援・共催の申請数などを入れてもらえると、市民自治のまち桐生ということを評価で出すことも可能ではないかと思うので、検討してもらいたい。 |
| 地域づくり課長 | 市民活動で頑張っていたいただき、感謝申し上げます。団体の後援・共催の数を目標指標にとの意見をいただいたので、検討させていただきたい。 |

8 その他

- ・事務局より、次回の開催日程（9月4日（月））及び委員報酬の支払日（9月8日（金））について事務連絡。

9 閉会 [終了：午後9時15分]

以上